

24年度 浄化槽設備士<実地試験> 解答試案

2013 .1.7

下記の解答は受験者の参考に資するため当社の試案により発表するもので試験実施機関によるものではありません。

問題1

(1) 図中のA～Cの名称

A 汚泥移送管 B 散気管 C 逆洗管

(2) 図中の距離

① 150 ② 1400 ③ 350

(3) 嫌気汚床槽の汚材の具備すべき条件

- ① 汚泥を補足しやすいこと
- ② 槽内の水流が短絡し難い形状のものであること
- ③ 補足された汚泥が脱落しやすく、清掃の作業性が良いこと

問題2

(1) 埋め戻し工事の前に行う水張りの目的を3つ

- ① 埋め戻しの時に槽の位置がずれたり、水平が狂うことを防止するため。
- ② 埋め戻しの際の土圧による本体及び内部設備の変形を防止するため。
- ③ 槽からの漏水が無いことを確認するため。 _____ など

(2) フロアの設置場所について留意すべき事項を3つ

- ① なるべく浄化槽の近くに設置し、空気配管をできるだけ短くして空気性能を減少させないことに留意する。
- ② 湿気や水気の多い場所を避けて設置すること。
- ③ 直射日光を避け、通気の良い場所に設置すること。
- ④ 維持管理が容易に行える場所に設置すること。 _____ など

問題3

施工経験記述のため省略

TGK(株)東北技術検定研修協会

e-mail @toughokugiken.com

〒980-0802 仙台市青葉区二日町13-26

TEL 022-738-9312 FAX 022-738-9365